




79.8% vs 85.5%... 何の割合？

前者は全国平均、後者は広報しまだの閲読率です！

市では、現在の主要な広報媒体である「広報しまだ」「ホームページ」「FM島田」について、公益財団法人日本広報協会の協力を得て調査しました。調査結果から「市民の利用状況や情報ニーズ」「広報後の行動変容や行政サービスに対する満足度」「市民の意識・地域間関与度」などを分析し、今後のより効率的で効果的な広報に役立てていきます。

-  広報しまだの分析
-  ホームページの分析
-  FM 島田の分析

【指摘】「メディアミックス展開を」



広報紙を核として、他のメディア(媒体)に誘導する展開が有効と思われる。

【対応】「他メディアと連動した紙面づくり」

異なる媒体と連動した新コーナーを作り、メディアミックスを図ります。



【指摘】「文字が小さい」



文章を短文化し、文字を大きくして可読性(読みやすさ)を高めたい。

【対応】「文字を大きくしました」

文字サイズを14級(1級=1Q=0.25mm)に上げました。行間は21歯(1歯=1H=0.25mm)です。

0.25mm →

13級 あ 14級 あ

【指摘】「対象とする読者の設定を」



関連情報に対する欲求が高い子育て世代や、関心の低い若年層に向けた取り組みを検討したい。

【対応】「読者のニーズに応えます」

読者層の拡大を図るため、対象(ターゲット)のニーズに応える特集やコーナーづくりを進めます。



【指摘】「判別しにくい紙面がある」



個別の情報の区切りを意識し、視認性(見やすさ)を高めたい。

【対応】「罫線などを活用しました」

「しまだ情報」など、1ページあたりの情報(文字量)が多い場合は、段間に罫線を引きました。



メディア評価 evaluation

市が活用している広報媒体の評価を、各メディアの専門家(日本広報協会・広報アドバイザー)に依頼しました。

広報しまだ

評価者 / 吉村潔氏 (エディター / (株)メ

ディアブレイ

ン代表取締役)



評価対象 / 平成26年6月号

企画・構成 / 基本は押さえてあるが、さらに分かりやすさを。特集 / ページ構成をスッキリさせて、情報を読み取りやすく。

文章・表記 / 短文化を意識し、文章にメリハリを。

デザイン / デザイン・フォーマット(体裁)の再点検を。

公式ホームページ

評価者 / 白旗保則氏 (ウェブ

プランナー /

グローバルデ

ザイン(株)代表



取締役)

評価対象 / 平成26年8月時点

トップページ / バナーの数・位置・間隔など、扱いの改善を。

構成 / 部署を横断するコンテンツは、ひとまとめに。

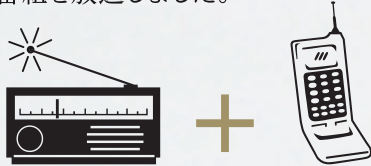
【指摘】「電話出演でゲストの充実を」



ゲスト選定の幅を広げるためにも、電話出演を積極的に導入して「呼びたい人」の選択肢の充実を。

【対応】「記念番組などで出演交渉」

「ばらサミット」関係市町の担当者に電話出演を依頼して、記念番組を放送しました。



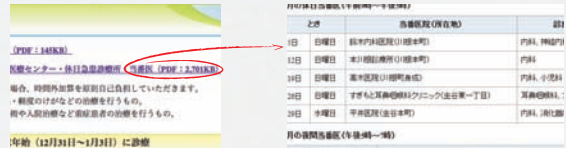
【指摘】「PDF 形式での情報掲載に注意」



PDF 形式のみで掲載されている情報は、アクセシビリティ(利用者への配慮)の点でも好ましくない。

【対応】「HTML 形式でも掲載します」

重要情報は優先的に、HTML 形式(ホームページ構造)で掲載するよう変更します。



【指摘】「番組のコンパクト化を」



リスナーを飽きさせないため、話す内容を整理して、長くなりすぎないようにコンパクトにまとめた。

【対応】「放送時間を調整しました」

1対1の番組などは放送時間を短くし、聴きやすい長さに調整しました。



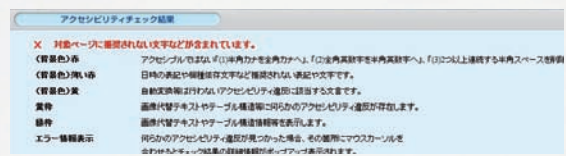
【指摘】「ユニバーサル・デザインに配慮を」



ホームページで公開する前に、チェッカー(照合ソフト)で発見された問題箇所を改善すべき。

【対応】「問題点に対応しました」

音声読み上げソフトなどに対応するため、チェッカーで指摘された箇所を修正しました。



【指摘】「公開生放送の特性を生かして」



スタジオ外の観客とやり取りするなど、ラジオというメディア特性を生かした雰囲気づくりを。

【対応】「魅力的な番組制作を目指します」

特にサテライト・スタジオでの放送で観客とやり取りをするなど、聴取者を引き付ける番組制作を進めます。



【指摘】「ページにではなくタグにリンクを」



項目をクリックすると、ページトップに移動してしまう箇所があるので、タグ(目印)を設定すべき。

【対応】「項目にタグを付けました」

ページ内の該当項目にタグを付けて画面のスクロール(マウスによる上下移動)幅を減らし、利便性と視認性の向上を図りました。



評価対象／平成26年度5番組
マイホームタウン島田／テーマ
に関するない人も、興味を持
てる内容に。
市長と語ろう／全体をコンパク
ト化し、ゲストの人選と話す
内容を整理してはどうか。
お茶の時間ですよ／市民だけ
なく、外部にも発信したい。
広報はまだ／自身の取材経験を
交えていることで、単に印刷
された内容をなぞるだけにな
くなり、面白い。
しまだふれあいまち歩き／企
画は良いが、現場の臨場感が
希薄でもったいない。



F M 島田
評価者／碓井広義氏(メデイ
アプロデュー
サー)／上智大
学文学部教授)

表現／重要な情報はPDF形式
だけでなく、HTML形式で
も提供すべき。
検索生・操作性／ナビゲーショ
ン(一覽)は使いやすい。
実用性／電子行政サービスは、
平均的にそろっている。
双方向性／ソーシャルメディア
を積極的に活用している。
コンテンツ／「島田市の魅力」
は、上手くまとまっている。

の「届く」広報活動 新たな取り組み!



例えば広報紙…

「若年層が関心を抱くようなテーマで、新しいコーナーづくりを！」

明日の自分へ
Tomorrow

「私は、穏やかな
島田が好きです。
将来の夢は…」



同世代の輝いている市民に登場してもらい、関心や共感を促します。

例えば広報紙…

「読者ターゲットを想定した、特集テーマの選定がポイントとなるはず！」



市民ニーズの高い防災・消防・防犯を担う市民に登場してもらい、新しい視点を提案します。

島田市の「ファン」に なってもらうために

今回の調査から、島田市の広報に対する市民満足度は、かなり高いことが分かりました。自由記述における意見を分析しても、通常であれば行政に対する不信感などが表明されることが多いのに対し、「現状のままが良い」という好意的な意見が多いことから、それがうかがえます。

しかし、これからの広報は、行政の視点だけでなく、地域の視点からも考えることが大切です。広報アドバイザーからの指摘にもあるように、一人でも多くの住民に地域への関心を高めてもらえるよう、対象の特性を捉えたテーマづくりを、各媒体の編集上で強化します。「読まない・聴かない・見ない」層へのアプローチです。

一方で「読みづらい・分からない・見られない」いわゆる情報弱者への広報も重要です。公平に情報を提供するための、さらなる工夫を検討していきます。

知っていそうで、意外と知らない「地元」に興味を持ってもらい、自慢したくなる「わがまち島田市」になるよう、各種媒体の特性を活かして連携し、今後一層の広報を図ります。目標は、市民の皆さん自身に島田市の「ファン」になってもらうことです。

住民目線の広報活動を

Sawa Shigeki



さわ しげき
澤 茂樹 氏

本測定の座長（広報コンサルタント／(株)澤茂樹事務所 代表取締役）

アンケートの分析結果を見ると、市民意識・地域への関与度が高い層ほど、「広報しまだ」「ホームページ」「FM 島田」と強く結びついています。「地域の行政広報媒体への接触」と「地域への関与度」は、相互に補完し合う関係といえるでしょう。

「地域の課題を、広報媒体を通して一緒に考えましょう」という姿勢を、各媒体の編集上で強化していくことが求められます。



□基幹メディア「広報しまだ」を核とした、メディアミックス展開を

広報紙「広報しまだ」は、市民によく読まれている、まさに市の「基幹メディア」になっていると言えるでしょう。今後しばらくは、広報紙を中核とした戦略的なメディア・ミックスの展開が有効と思われます。

□戦略ターゲットの設定および若年層への情報伝達の手立てを

読まない層は、18～25歳の特に「男性」で「学生」という結果が出ています。これらの層は「スマホ世代」であり、関心のあるテーマから広報に引き込む手法をとることが有効と思われます。

□地域への関心を高める広報のあり方

地域に関心を持ってもらう「仕掛け」を工夫することが大切です。地域づくりの話題でも、それに携わっている人たちがどう関わっているか住民目線で問題を提起し、さまざまな局面で見せ続けていくことが必要ではないでしょうか。

例えばホームページ…

「必要な時に見るホームページを習慣的にみてもらえるように！」



市内の新しいスポット発見とともに、投稿画像が広報紙、ホームページ、SNSをつなぐコーナーを始めます。

例えば FM 島田…

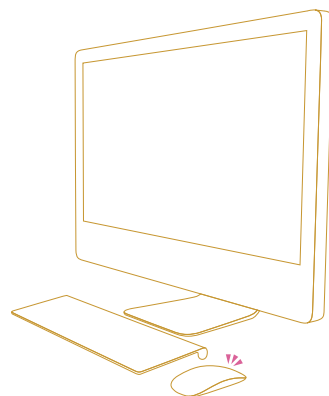
「広報しまだから FM 島田へ引き込む戦略が有効だろう！」



FM パーソナリティが、食卓を彩る一品を、市健康づくり食生活推進協議会の皆さんと一緒に紹介します。

平成26年度島田市広報効果測定・戦略プラン策定業務報告書（全文）は、市役所本庁舎および各支所の情報公開コーナーでご覧いただけます。また、市ホームページでも公開しています。

<https://www.city.shimada.shizuoka.jp/kouhou/kouhoukouka.html>



島田市